



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋フーズ  
コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緑川 源治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 小松崎 克弘 TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	39,740	2.7	612	△3.8	633	0.8	26	△85.4
26年3月期第2四半期	38,695	1.0	637	48.4	628	39.6	179	54.9

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 30百万円 (△81.6%) 26年3月期第2四半期 167百万円 (46.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.38	—
26年3月期第2四半期	9.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	57,922	33,321	33,321	33,519	57.5	1,748.49
26年3月期	57,879	33,519	33,519	33,519	57.9	1,758.87

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 33,321百万円 26年3月期 33,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,260	2.9	2,280	△2.9	2,310	△1.8	860	24.6	45.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	19,063,968 株	26年3月期	19,063,968 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,822 株	26年3月期	6,670 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	19,057,248 株	26年3月期2Q	19,057,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴い設備投資等の増加等、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、原料・燃料高による価格上昇、海外景気の下振れ等の景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、家計収入の増加期待から、洗練された高付加価値商品への顧客ニーズが高まり、迅速な対応を求められる環境となりつつあります。一方で、食材価格の上昇、業種を超えた企業間競争の激化等は加速しており、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態として、とんかつ業態を中心に新店出店し、直営のとんかつ業態11店舗、牛めし業態3店舗（内、FC1店舗）の合計14店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし定食店8店舗、とんかつ業態1店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店及び一時休業店を含め、1,042店舗（うちFC7店舗、海外3店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店970店舗、とんかつ業態58店舗、鮎業態7店舗、その他の業態7店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、33店舗の改装（全面改装7店舗、一部改装26店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、チルド牛肉を使用し肉本来の旨さを引き出した「プレミアム牛めし」を導入した他、新商品として「筍牛めし」「味噌漬け牛カルビ定食」「和風おろしハンバーグ定食」「タッカルビ風鶏の甘辛味噌炒め定食」「ガリチキ定食」等を導入いたしました。また、「山形だし牛めし」「夏野菜トマトカレー」「山かけネギトロ丼」「うまトマハンバーグ定食」等の季節商品の販売や、「牛焼肉定食」「カルビ焼肉定食」の増量キャンペーン、「夏のドリンクフェア」を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比102.4%と前年を上回ったこと等により、前年同期比2.7%増の397億40百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の34.0%から33.7%に改善いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.4%から64.8%となりました。この要因は、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の33.8%から34.2%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.8%から67.9%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比3.8%減の6億12百万円、経常利益は同0.8%増の6億33百万円、四半期純利益は同85.4%減の26百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は579億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。このうち、流動資産は128億46百万円となり、原材料及び貯蔵品の在庫が13億15百万円増加した一方、現金及び預金が5億97百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加いたしました。また、固定資産は450億75百万円となり、減価償却による減少等によって、前連結会計年度末に比べ6億76百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は246億1百万円となり、短期借入金等の増加等により前連結会計年度末に比べ2億41百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は333億21百万円となり、配当金支払いによる利益剰余金の減少等によって前連結会計年度末に比べ1億98百万円減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の57.9%から57.5%となっております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億92百万円減少し、40億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億84百万円(前年同期は9億76百万円の収入)となりました。

これは「減価償却費及びその他の償却費」17億15百万円といった資金増加要因があった一方、「たな卸資産の増減額(△は増加)」13億22百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億35百万円(前年同期は4億82百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」8億68百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」1億36百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億40百万円(前年同期は17億34百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」20億13百万円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」17億44百万円や、「配当金の支払額」2億28百万円、「リース債務の返済による支出」1億円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期の業績を勘案し、平成26年5月13日に公表いたしました平成27年3月期の業績予想を以下の通り修正いたします。

平成26年7月より販売開始した「プレミアム牛めし」の好評等により、売上高は812億60百万円(前回発表予想比+14億50百万円)となる見込みであります。一方、食材価格の高騰及び「プレミアム牛めし」の導入コスト増加等により、営業利益は22億80百万円(同△2億円)、経常利益は23億10百万円(同△2億50百万円)となるものの、既存店の業績向上等による減損損失の減少等で、税引後当期純利益は8億60百万円(同±0円)を見込んでおります。

平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	79,810	2,480	2,560	860	45円11銭
今回修正予想(B)	81,260	2,280	2,310	860	45円11銭
増減額(B-A)	+1,450	△200	△250	±0	—
増減率(%)	+1.8	△8.1	△9.8	0	—
(ご参考) 前期実績 平成26年3月期通期	78,939	2,347	2,352	690	36円21銭

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	79,200	2,460	800	41円96銭
今回修正予想(B)	80,650	2,210	800	41円96銭
増減額(B-A)	+1,450	△250	±0	—
増減率(%)	+1.8	△10.2	0	—
(ご参考) 前期実績 平成26年3月期通期	78,343	2,404	769	40円38銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,853,232	7,255,820
受取手形及び売掛金	372,157	502,584
商品及び製品	243,228	247,550
原材料及び貯蔵品	2,201,014	3,516,340
繰延税金資産	494,518	421,522
その他	963,130	902,732
流動資産合計	12,127,283	12,846,551
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	15,623,225	14,782,327
機械装置及び運搬具(純額)	1,522,040	1,475,703
工具、器具及び備品(純額)	1,640,621	1,535,732
リース資産(純額)	401,584	777,087
土地	10,266,030	10,266,030
建設仮勘定	12,902	71,430
有形固定資産合計	29,466,403	28,908,312
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	190,439	185,517
その他	19,173	18,892
無形固定資産合計	209,613	204,410
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	173,568	173,566
敷金及び保証金	13,118,451	12,997,923
長期前払費用	586,545	555,128
店舗賃借仮勘定	74,930	51,111
繰延税金資産	1,134,254	1,185,201
投資不動産(純額)	637,673	643,386
その他	361,444	367,878
貸倒引当金	△10,650	△11,121
投資その他の資産合計	16,076,218	15,963,075
固定資産合計	45,752,235	45,075,798
資産合計	57,879,518	57,922,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,577,431	1,779,729
短期借入金	344,971	2,350,692
1年内返済予定の長期借入金	3,489,964	3,451,154
未払金	2,516,690	2,596,655
リース債務	157,321	206,327
未払法人税等	993,267	370,471
賞与引当金	902,394	852,162
役員賞与引当金	—	293
資産除去債務	—	851
その他	1,091,734	1,049,318
流動負債合計	11,073,775	12,657,656
固定負債		
長期借入金	11,570,551	9,864,379
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	263,974	623,215
資産除去債務	689,929	693,981
繰延税金負債	14,184	14,000
その他	165,647	165,844
固定負債合計	13,286,387	11,943,521
負債合計	24,360,162	24,601,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	19,946,684	19,744,245
自己株式	△13,012	△13,314
株主資本合計	33,552,749	33,350,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	179
為替換算調整勘定	△33,574	△29,015
その他の包括利益累計額合計	△33,393	△28,835
純資産合計	33,519,355	33,321,172
負債純資産合計	57,879,518	57,922,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	38,695,368	39,740,410
売上原価	13,149,180	13,375,486
売上総利益	25,546,187	26,364,924
販売費及び一般管理費	24,908,847	25,751,996
営業利益	637,339	612,927
営業外収益		
受取利息	20,701	18,622
受取配当金	1,217	1,217
受取賃貸料	125,339	131,787
その他	68,040	91,720
営業外収益合計	215,299	243,347
営業外費用		
支払利息	103,381	80,878
賃貸費用	107,569	109,400
その他	13,157	32,685
営業外費用合計	224,108	222,963
経常利益	628,530	633,311
特別利益		
固定資産売却益	309	554
固定資産受贈益	2,628	—
収用補償金	72,859	21,500
特別利益合計	75,796	22,055
特別損失		
固定資産除却損	5,461	3,562
店舗閉鎖損失	2,160	29,163
固定資産売却損	7,984	12,348
減損損失	133,042	284,301
その他	1,560	1,500
特別損失合計	150,210	330,875
税金等調整前四半期純利益	554,117	324,491
法人税、住民税及び事業税	354,464	276,673
法人税等調整額	19,977	21,569
法人税等合計	374,442	298,243
少数株主損益調整前四半期純利益	179,674	26,247
四半期純利益	179,674	26,247

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	179,674	26,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△1
為替換算調整勘定	△12,105	4,559
その他の包括利益合計	△12,071	4,557
四半期包括利益	167,602	30,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,602	30,805
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	554,117	324,491
減価償却費及びその他の償却費	1,897,557	1,715,292
減損損失	133,042	284,301
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,831	△50,217
受取利息及び受取配当金	△21,918	△19,839
支払利息	103,381	80,878
有形固定資産除売却損益(△は益)	△59,722	△6,144
店舗閉鎖損失	336	25,971
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	195,121	371,777
売上債権の増減額(△は増加)	87,658	△130,475
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208,775	△1,322,618
仕入債務の増減額(△は減少)	△418,154	202,625
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,494	219
その他	△349,234	△98,896
小計	1,910,746	1,377,365
法人税等の支払額	△934,000	△893,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,745	484,149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△558,898	△868,266
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△120,193	△136,879
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	146,662	79,544
利息及び配当金の受取額	1,796	1,702
その他	48,175	△11,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,456	△935,129
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,200,000	2,013,319
短期借入金の返済による支出	△1,508,998	—
長期借入金の返済による支出	△1,992,703	△1,744,982
リース債務の返済による支出	△82,692	△100,179
自己株式の取得による支出	△64	△301
利息の支払額	△101,929	△80,162
配当金の支払額	△247,746	△228,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,734,134	△140,993
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,799	△438
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,238,045	△592,412
現金及び現金同等物の期首残高	4,459,809	4,648,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,221,763	4,055,820

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月25日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,687千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	228,687	12	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金